



おかえり、ウミガメ

たか く いたる かん
高久 至 作 アリス 館

5月がっになると、ぼくがくらす屋久島やくしまにアカウミガメがやってくる。日ひがしずんだ砂浜すなはまで、できるだけ安全あんぜんな場所ばしょをさがし、卵たまごを産うむのだ。生うまれた子ガメこたちはおそれたりまよったりしてカちからつき、海うみにたどり着つけないことが多い。それでも、生いき残のこった子ガメこは数年すうねんかけて太平洋たいへいようをわたり、早はやくて20年ねんご後、次つぎの世せ代だいを残のこすため、故郷こきやうに帰かえってくる。

これは、ずっとずっと古ふるくからくり返かえされてきた、海うみの物語ものがたり。

ウミガメへの愛情あいじゆうあふれる語かたりと美しい写真うつくしくの絵本えほんです。

